

2019年秋、新作公演 ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」“飛翔” 製作発表会見！

“ハイキュー!!の日”である8月19日、東京・3331 Arts Chiyoda 体育館にて、シリーズ8作目となる新作公演・ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」“飛翔”の製作発表が行われた。



11月1日(金)より東京・大阪・宮城・東京凱旋の4会場にて上演される“飛翔”では、日向翔陽役の醍醐虎汰朗をはじめとする「新生烏野」がついに始動。春の高校バレー全国大会に備える烏野高校排球部のメンバーが、それぞれ新たな強敵(ライバル)と出会い成長していくストーリーが展開される。

会見には、新生烏野の日向翔陽役・醍醐虎汰朗と影山飛雄役・赤名竜之輔が扮装姿で、そして演出・脚本のウォーリー木下が登壇。まずウォーリーが今作について「演劇『ハイキュー!!』は、毎公演チャレンジをしようということをテーマに掲げています。今作はここ最近で一番大きなチャレンジです。もちろん

不安もありますが、新生烏野のメンバーはとても若くて、みんな真っ直ぐに演劇が好きなのが伝わってくる。この俳優さんたちとなら、今までとは全く違う新しい挑戦ができるなとワクワクしています。このワクワクは初演の時を思い出します」と熱く語る。

今作から演劇「ハイキュー!!」に参加する醍醐は自身が演じる日向翔陽について「すごくポジティブ。今作で描かれるのは壁にぶつかるころだと思うのですが、そこでも凹まずに、くじけずに、前を向いている人なので、そこは大切にしていきたい」、赤名は自身が演じる影山飛雄について「僕は彼をひとりの男として尊敬しています。1年生でレギュラーでセッターというポジションにかかる期待に常に応え続けている人なので」とそれぞれ話した。

会見ではサプライズで、2015年11月の初演から2018年10月“最強の場所(チーム)”まで日向翔陽役で出演した須賀健太と、「ハイキュー!!」ファンの古田新太、池田成志よりビデオメッセージも。須賀からは「新生烏野のどんな演劇「ハイキュー!!」が飛び出すのか、楽しみにしています!」、池田からは「膝に気をつけて!」、そして古田からは「魔球を期待してる」という謎のメッセージが贈られ、3人は笑顔を見せた。さらに、原作者・古館春一が描き下ろした「飛翔」のタイトル入りの応援イラストもプレゼント。これには3人も大感激で「こんな贅沢なことはない(醍醐)」、「先生にもぜひ楽しんでもらえる公演をつくりたい(赤名)」、「『飛翔』という言葉には、日向『翔』陽と影山『飛』雄の名前が入っている。それを先生が描いてくださって、頑張つてと言っていたようにとても嬉しいです(ウォーリー)」と話した。

最後にウォーリーから「今まで劇中で『繋ぐ』という言葉がよく出てきたのですが、今作では『託す』という言葉が出てきます。新しい劇団「ハイキュー!!」のメンバーには、今回の公演で託すことのおもしろさを見つけてもらえると、素敵な景色が見られるんじゃないかと思います」と新キャストへの激励の言葉が送られた。

演劇「ハイキュー!!」では、本日「ハイキューの日」の午後8時19分から公式YouTubeチャンネルで特別番組を配信予定。新生烏野の初めてのバレーボール合同練習の様などが放送される。

©古館春一／集英社・ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」製作委員会

「ハイキュー!!」にゆかりのある著名人からのコメント

須賀健太

「8月19日の「ハイキュー!!の日」は、去年まで直接お祝いさせていただいていたのですが、今回はこうしてコメントでお祝いさせていただくことができ、本当に嬉しく思っております。

演劇「ハイキュー!!」は卒業しましたが、あまり卒業した感じがせず、未だに現役のごとく応援しております。新生烏野の皆さんがまた新しい演劇『ハイキュー!!』をつくってくれるのかなと思うと、本当に楽しみです。」

池田成志

「演劇『ハイキュー!!』の新しいシリーズが始まりますが、きつい公演ですのでお身体だけは本当に気を付けてください。僕は演劇『ハイキュー!!』を観に行ったときには、まだ清水潔子さんが出てなかったのがちょっと残念でしたが、今では出るらしいですね。非常に良かった。漫画のファンでもあるので、嬉しいです。本当に頑張ってください！」

古田新太

「元バレーボール部でグラチャンとか見に行っていました。

演出のウォーリー木下には漫画の『ハイキュー!!』と違う演劇『ハイキュー!!』を見せて欲しいですね。魔球とか出して(笑)」

原作者・古館春一

「新生烏野 楽しみにしています!!」



©古館春一／集英社・ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」製作委員会

【本件に関するお問い合わせ先】(株)キョードーメディアス TEL：03-3407-8105
雲林院：unriin@kyodotokyo.com／佐藤： medias1@kyodotokyo.com／唐金：karakane@kyodotokyo.jp

【公演概要】

タイトル:ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」“飛翔”
原作:古舘春一「ハイキュー!!」(集英社「週刊少年ジャンプ」連載中)
演出・脚本:ウォーリー木下
音楽:和田俊輔

<公演期間・劇場>

東京:2019年11月1日(金)～11月4日(月・休) TOKYO DOME CITY HALL
大阪:2019年11月9日(土)～16日(土) 大阪メルパルクホール
宮城:2019年11月22日(金)～24日(日) 多賀城市民会館 大ホール
東京凱旋:2019年12月6日(金)～15日(日) 日本青年館ホール

<チケット情報>

東京・東京凱旋公演 S席:9,000円 A席:7,000円(全席指定・税込)
大阪・宮城公演:9,000円(全席指定・税込)

<チケットに関するお問い合わせ>

サンライズプロモーション東京 TEL:0570-00-3337(全日 10:00～18:00)

<公演に関するお問い合わせ>

ネルケプランニング TEL:03-3715-5624(平日 11:00～18:00)

<公式 HP>

<http://www.engeki-haikyu.com/>

<キャスト>

■烏野高校

日向翔陽	醍醐虎汰朗／
影山飛雄	赤名竜之輔／
月島 蛍	山本涼介
山口 忠	織部典成
田中龍之介	鐘ヶ江 洸
西谷 夕	北澤優駿
縁下 力	中谷優心
木下久志	長田翔恩
澤村大地	日向野 祥
菅原孝支	一ノ瀬 竜
東峰 旭	福田侑哉／

■烏野高校 マネージャー

清水潔子	大久保聡美
谷地仁花	山本樹里／

©古舘春一／集英社・ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」製作委員会

■烏野高校 顧問・コーチ

武田一鉄 鎌苅健太
烏養繫心 小笠原 健／

■青葉城西高校

金田一勇太郎 坂本康太
国見 英 神田聖司／

■白鳥沢学園高校

天童 覚 加藤 健
白布賢二郎 佐藤信長
五色 工 菊池修司／
鷲匠鍛治 川下大洋／

■伊達工業高校

青根高伸 新井 將
二口堅治 木村 敦
作並浩輔 廣野凌大
黄金川貫至 羽富琉偉／

■井闔山学院高校

佐久早聖臣 つわぶき峻／

■鷗台高校

星海光来 輝山 立／

■稻荷崎高校

宮 侑 松島勇之介

【主催】

ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」製作委員会
(TBS／ネルケプランニング／東宝／集英社／キューブ)

■Story

幼い頃に見た“小さな巨人”に魅せられ、バレーボールを始めた少年・日向翔陽。
しかし憧れの烏野高校排球部に入部した彼を待ち受けていたのは、中学最初で最後の試合で惨敗した天才プレイヤー・影山飛雄の姿だった。最初は反目し合っていた二人だったが、様々な困難を前に少しずつ互いを認め合っていく。

©古館春一／集英社・ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」製作委員会

烏野高校排球部は、激戦の末に白鳥沢学園高校を倒し、春の高校バレー全国大会・宮城県代表の座を掴んだ。
春高が迫る中、烏野に思わぬ報せが届いた・・・。

影山に全日本ユース強化合宿、月島には宮城県1年生選抜強化合宿、それぞれに招集がかかる。焦る日向は宮城県
1年生選抜強化合宿に押しかけるも、ボール拾いをすることに！？

日向、影山、そして烏野は更なる成長を遂げ、春高全国大会を迎えることができるのか！？

バレーボール 排球

コート中央のネットを挟んで 2チームでボールを打ち合う

ボールを落としてはいけない 持ってもいけない

3度のボレーで攻撃へと“繋ぐ”、球技である

飛べ、新生烏野!

■ハイパープロジェクション演劇「ハイキュー!!」とは

集英社「週刊少年ジャンプ」にて絶賛連載中の古館春一による大人気バレーボール漫画「ハイキュー!!」を舞台化した作品。

2015年11月の初演から、2018年10月の“最強の場所”^{チーム}では物語の主要校である烏野高校の全キャストが卒業。

2019年4月の“東京の陣”ではライバルの音駒高校を主要校として上演し大盛況で終幕した。

新作“飛翔”では、烏野高校に新キャストを迎え「新生烏野」が始動。

新生演劇「ハイキュー!!」、更なる演劇の“頂”、を目指す!!



<画像などのクレジット表記> ※「/」「・」は全角、(C)は○にCをお願いいたします。

◆正式表記

(C)古館春一／集英社・ハイパープロジェクション演劇「ハイキュー!!」製作委員会

※「館」ではなく「館」の字ですので、ご注意ください。

◆簡易表記 ※スペース的に正式表記が難しい場合のみ、下記をご使用ください。

(C)HF/S・HPEH

©古館春一／集英社・ハイパープロジェクション演劇「ハイキュー!!」製作委員会

【本件に関するお問い合わせ先】(株)キョードーメディアス TEL: 03-3407-8105

雲林院: unriin@kyodotokyo.com / 佐藤: medias1@kyodotokyo.com / 唐金: karakane@kyodotokyo.jp